

# 「社の顔見える一冊」

## ハルナグループ25周年記念で発行



「言葉や理屈ではなく直感力が大切」と話す青木名誉会長(左)

### 青木名誉会長 社員や識者と対談

飲料メーカーのハルナグループ名誉会長で、創業者の青木清志さん(86)が、創業25周年を記念した対談集「はじめたら、おわりはないII」を発行した。社員や各界の識者との対談をまとめており、決算の数字ではない、会社の顔が見える一冊になった」と振り返った。

対談集は5年前に続いて2冊目。グループ

の若手社員から社長まで約50人と言葉を交わし、「社員の変化を感じた。成長のためには好奇心を持って仕事に取り組むことが大切」と話す。他に、マスコミ関係者や美術評論家、経済界の関係者ら幅広い分野の識者との対談も掲載。テーマは「リーダーの創造」「美意識はビジネスを際立たせ

と話す。

さらなる25年、100年先を見据え、持続可能な社会への貢献や社員の生活を考えた経営の必要性を説く。「成績や利益だけを追求するのではなく、社員一人一人が仕事を楽しめるかが重要。対話を通じてそうした社員の思いも分かる。5年後の30周年でもやりたい」と語った。

11日には前橋市の上毛新聞社を訪れ、内山充社長と懇談した。対談集は1500部制作。社員や関係者に配布した。定価2千円(税別)だが、この記事を見た人は特別価格1500円で販売する。問い合わせは同グループのメール(kou@harunabe.v.co.jp)へ。

る」「100年経営に学ぶ」ときまぐれで、青木さんは「社会の断面を切り取ったよう」